

令和7年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

令和7年6月13日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着が続いているため、採苗器の投入を完了してください。

< 調査結果の概要 >

- 6 / 11の唐丹湾の10m深水温は11.9℃、透明度は9mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイの殻長200μm未満の小型ラーバが30個/m³（昨年同時期：35個/m³）、200μm以上の大型のラーバが19個/m³（昨年同時期：49個/m³）出現しました。
- ムラサキイガイのラーバは499個/m³、キヌマトイガイのラーバは149個/m³、エゾイシカゲガイのラーバが164個/m³でした。いずれのラーバも昨年同時期よりも多めでした。
- 地域間で差が見られますが、ホタテガイ稚貝の付着が継続しています。唐丹湾では前回調査（6 / 5）よりも減少しており、次第に収束していくものと考えられます。
- 採苗器が残っている場合は、採苗器の投入を完了してください。

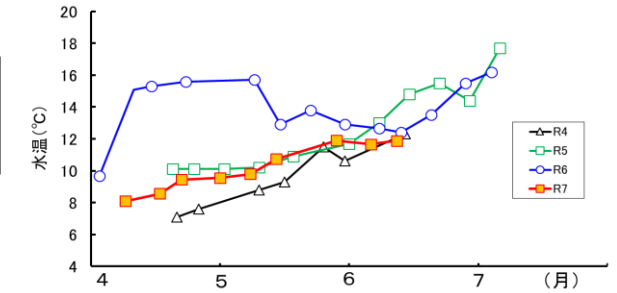
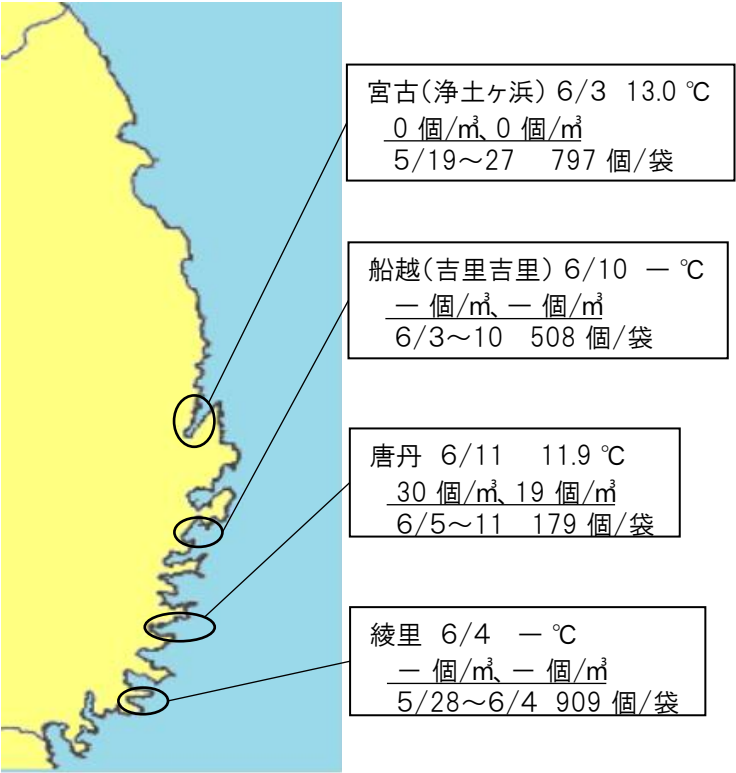


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

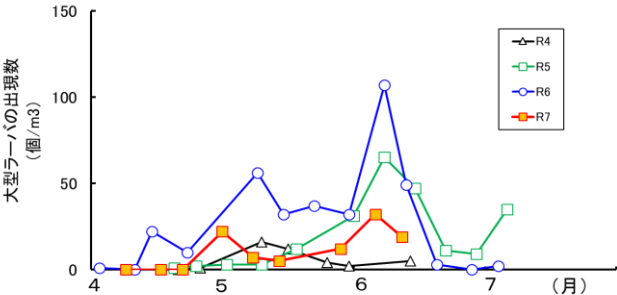


図3 唐丹湾におけるホタテガイの大型ラーバ出現数

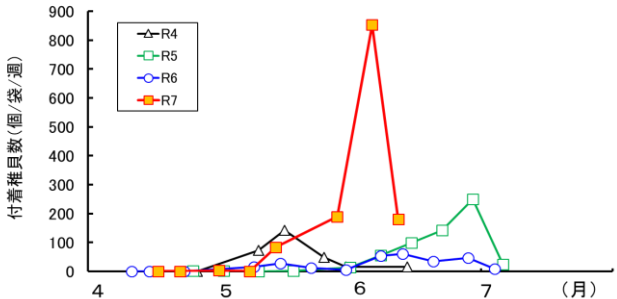


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月20日頃に
発行する予定です。